

## 中学・高校生の『地理の勉強』

松 井 勇

近況報告風の随筆とのことですが、およそ私には不向など依頼で、やむをえず、少々趣向をかえてお茶をにごすことにします。

目下自由学園と早稲田に勤めています。自由学園は今年（昭和50年）で満41年、細々ながら随分長い勤務になりました。女子部は普通科（中学）各学年1組ずつ、高等科（高等学校）同じく各学年2組ずつの、まことにこじんまりした学校です。お茶大の卒業生の方にも、大分お世話になったことがあります。「受験」とは全く関係のない学校で、且つ一貫教育ですから、教科書を使いながら、自分の考えにしたがって、「初等教育の地理」の授業を行うことができます。現在の教科書は、内容を適宜選択ないし補足すれば、大変便利な教材だと思います。授業時間の配置その他についても、多少の感想がありますが、それは他日にゆずって、今日は地理の勉強について、高等科1年の生徒に配ったプリントの梗概をご笑覧に供します。

### (A) 勉強の方法

- (1) 授業中に集中する。おしゃべりは禁物。
- (2) その日の復習は、その日にする。復習は勉強の母。
- (3) 一章毎に総復習をする。試験は、総復習の結果を確かめるものである。
- (4) 地図に親しむ。略図をたくさん書く

### (B) 地理的知識

- (1) 知識は正確でなければならない。分った点と分らない点を、はっきり区別しよう。
- (2) 地名は地理の生命。重要な地名は、位置とともにしっかりおぼえよう。
- (3) 同じ事実でも、地域により現われ方に差異がある。地域的比較によって、地理の知識が整理される。
- (4) 事実の結び付きを理解することが大切である。それなしには科学的知識とはいえない。

生徒用には事例なども加えてありますが、すべて省略しました。(A)については普通科の最初の時間に話し、(B)については高等科1年になってから、授業に即して説明しています。なお普通科の教科書では、日本と世界の地誌が取扱われていますから、高等科では系統地理の授業をしています。

卒業生諸姉には現場の経験豊かな方も多いので、色々と教示を願えれば幸いです。